

助教・助手展
2024

前期=2024年11月28日(木)—12月7日(土)

後期=2024年12月12日(木)—12月21日(土)

MU M&L
Musashino Art University Museum & Library

公式webサイト=
<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/>
最新情報はwebサイトでご確認ください。

休館日=水曜日/入館料=無料/開館時間=11:00-19:00 (土・日曜日、祝日は10:00-17:00) 会場=展示室2,4,5,6 アトリウム1,2 ほか
主催=武蔵野美術大学 美術館・図書館/企画=助教・助手展2024運営委員会/住所=〒187-8505 東京都小平市小川町1-736/電話番号=042-342-6003

Exhibition 2024()
Research Associates and
Research Assistants()

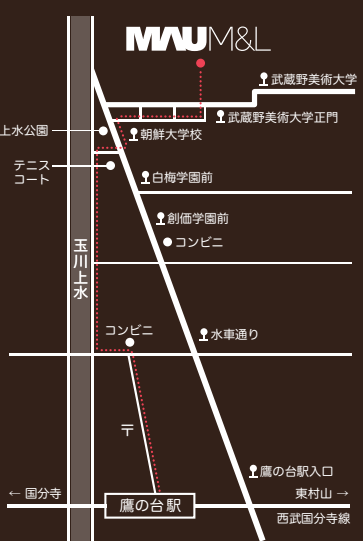
Exhibition 2024() 助助 Research Associates and 手教 Research Assistants() 展・



武蔵野美術大学の助教・助手は、研究室運営に携わり本学における教育の現場を支える一方、自身も一人の作家、デザイナーあるいは研究者として、幅広い領域で活動を展開しています。彼らの多彩な表現が一堂に会する本展は、企画運営も助教・助手自身の手で行われ、それぞれの専門性を生かして特色ある展覧会が構想されます。今年度の助教・助手展は「作家に注目する」というコンセプトのもと、作品だけでなく各作家の活動にも注目し、本学の若き俊英たち、出展者73名による様々な試みを紹介いたします。



「助教・助手展 2023 武蔵野美術大学助教・助手研究発表」会場風景 撮影：伊藤安鐘



同時代を生きる表現者たちによる多彩な作品の数々に加え、彼らが柔軟な発想で作り上げた展覧会企画を通し、新たな表現の可能性を感じていただく機会となれば幸いです。

アクセス

- 西武国分寺線「鷹の台」駅下車、徒歩18分
 - JR中央線「国分寺」駅北口4番停留所より西武バス「武蔵野美術大学」行または「小平営業所」行に乗り、「武蔵野美術大学正門」停留所下車(バス所要時間：約25分)
 - JR中央線「立川」駅北口5番停留所より立川バス「武蔵野美術大学」行に乗り、「武蔵野美術大学」停留所下車(バス所要時間：約25分)
- ※お車でのご来館はお控えください

会場

武蔵野美術大学 美術館・図書館
〒187-8505
東京都小平市小川町1-736
042-342-6003
<https://mauml.musabi.ac.jp/museum/>
X・Instagram @mau_m_l



グラフィックデザイン Cat 佐藤翔子

参加者名

- | | |
|--------|-----------|
| 合原史子 | 田中佑季 |
| 秋葉麻由子 | 田村啓悟 |
| 浅野日向子 | 多持大輔 |
| 亜種 | ツバキハラタカマサ |
| 飯塚祐介 | 寺内大登 |
| 伊賀さな | 永井天陽 |
| 池田萌々恵 | 永長愛美 |
| 伊藤安鐘 | 中山佳保子 |
| 伊藤乃愛 | 鍋田瑞歩 |
| 梅沢真綾 | 難波梨乃 |
| 大関龍一 | 二文字りの |
| 岡村あい子 | 野田楓 |
| 越智七海 | パクビョンイク |
| 小野田藍 | 簾智柚奈 |
| 風間南楓 | 蜂谷円悠 |
| 加藤まみ | 平川いつか |
| 加藤万結 | 深田桃子 |
| 河城ふみ | 細井えみか |
| 岸紗英子 | 松井友里恵 |
| 岸田花音 | 松河直美 |
| 北島未来 | 見谷凌 |
| キンマキ | 宮城島万莉子 |
| 日下部亜留斗 | 宮入惇 |
| 郡祐太郎 | 宮寺彩美 |
| 小林彩香 | 安田玲奈 |
| 小見拓 | 矢萩理久 |
| 小山さくら | 山下咲香 |
| 齋藤将太 | 山本珠聡 |
| 齊藤まつり | 山本麻璃絵 |
| 迫竜樹 | 若狭風花 |
| 佐々木玲美 | 渡辺ひかり |
| 塩川恵 | 運営委員として参加 |
| 塩足月和子 | 宇佐美喜一郎 |
| 柴田有紀 | 太田琢人 |
| 下川晴葵 | 木村幸伸 |
| 白井伶奈 | 佐藤花 |
| 竹下早紀 | 和久智穂 |